

色麻町

船形神社

木造十二神将立像



小栗山地区の船形神社の社殿に安置されていた「木造十二神将立像」です。

十二神将は、薬師如来およびその信仰者を守護するとされる十二体の武神で、昼夜の十二の時、十二の月、または十二の方角を守るとされ、それぞれに干支が当てはめられています。船形神社の十二神将像の頭部にも、干支を表す獣面や獣体がのこっています。

上段左から、^{くびらたいしょう}宮毘羅大将、^{ばさらたいしょう}伐折羅大将、
^{めきらたいしょう}迷企羅大将、^{あんちらたいしょう}安底羅大将、^{あにらたいしょう}頰爾羅大将、^{さんち}珊底
^{らたいしょう}羅大将、下段左から、^{いんだらたいしょう}因達羅大将、^{ばいら}波夷羅
^{たいしょう}大将、^{まこらたいしょう}摩虎羅大将、^{しんだらたいしょう}真達羅大将、^{しょうとら}招杜羅
^{たいしょう}大将、^{びからたいしょう}毘羯羅大将。



所有者：船形神社 別当 早坂 一郎（色麻町小栗山）

町指定：平成24年12月3日